

令和7年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 尾倉 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和7年4月17日（木）に、「教科（国語、数学に関する調査）」、文部科学省が指定した日（4月14日から4月17日の間）に「教科（理科に関する調査）」、「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学、理科）

教科に関する調査（国語、数学、理科）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問調査

生徒質問調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

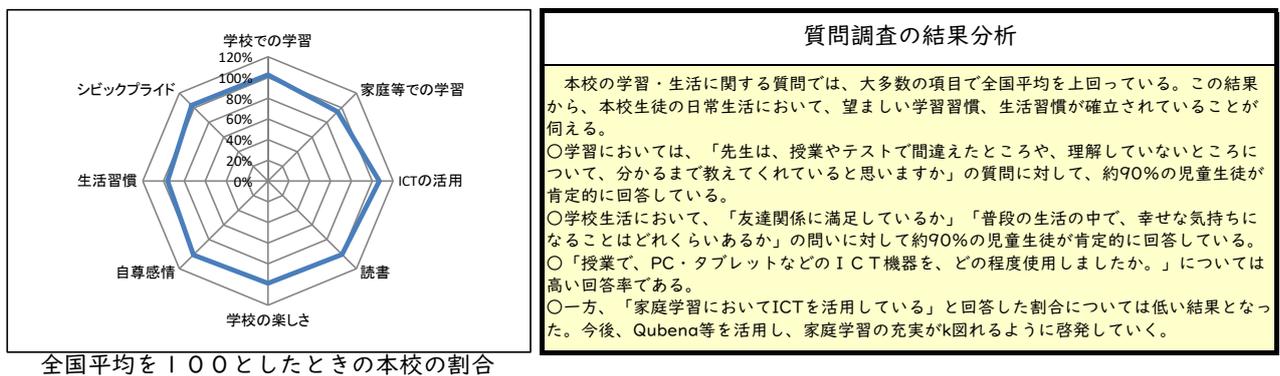
(1) 全国・本市の学力調査（国語、数学、理科）の結果

本年度の結果	国語		数学		理科
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均IRTスコア
本市	7.4	53	6.7	45	492
全国	7.6	54	7.2	48	503

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	学習指導要領の内容のうち、知識及び技能、思考・判断・表現等のどちらの項目において全国平均を上回る結果となった。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	特に、「文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる」、「文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる」、について全国平均より高い結果となった。	
	努力が必要な問題	「目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる」、「表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる」、について全国平均より低い結果となった。	
数学	全体的な傾向や特徴など	学習指導要領の領域、「数と式、関数、データの活用」の項目において全国平均を上回る結果となった。「図形」の分野に関しては下回る結果となった。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	特に、「相対度数の意味を理解しているかどうかをみる」、「式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる」、について全国平均より高い結果となった。	
	努力が必要な問題	「証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見出すことができるかどうかをみる」、「事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる」については全国平均より下回る結果となった。	
理科	全体的な傾向や特徴など	学習指導要領の内容の内、「エネルギー、粒子、生命、地球」を柱とする領域において全国平均を上回る結果となった。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	特に「科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できるかどうかをみる」について全国平均より高い結果となった。	
	努力が必要な問題	「塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる」については全国平均より下回る結果となった。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

ICT機器の活用に加え、個別最適な学びの実現のためにGIGA端末の活用を仕組んだ授業計画実行をする。家庭学習が着実に行えるような宿題・課題等の計画実行をする。

② 家庭生活習慣等に関する取組

GIGA端末等を利用した家庭学習の推進を行う。生活習慣の定着、改善に取り組めるよう、学校と家庭との連携を密にする。